

11月の「どんぐりsカフェ」から

子らの創意光る「ヤジロベー」

「高森山のどんぐりで、『ヤジロベー』を作ろう」と題した「どんぐりsカフェ」の木工教室が11月16日、「グルッポふじとう」で開かれた。当会の加藤善夫理事が指導者となり、子供21名、保護者ら18名の計39名が参加。子供らは目を輝かせて取り組んでいた。

前もって拾い集めた高森山のどんぐりを使っ
ての挑戦。子供たちは、ヤジロベーの基本となる
べくバランスをとることにやはり当初から苦
戦、顔となるドングリの両横に「キリで穴を空
ける」ことからスタートし次に手となる竹串を
差し込みバランスを見るが、これがなかなか
うまくいかない。今回は苦戦を見越して「失敗し
ても次のドングリで再チャレンジしていいよ」
としておいたが、親御さんの助言もあり、悪戦
苦闘のうえ徐々に出来上がっていった。

次にヤジロベーの周りに自分なりの公園を作
ることになるが、この段階となると子供さんの
天性が生きてくる。自分の名前入り公園を作っ
たり、ドングリをべったり敷き詰めた公園だっ



たり。大人から見て、想像もつかない風景が
出来上がっていった。子供の天真爛漫さがうらや
ましくさえ思える瞬間であった。ビックリは木
の枝ぶりのブロックを用意しておいたが、どう
いう訳か、それが逆さまに接着されており、そ
れがさして不思議ではなく全体の中に溶け込ん
でおり、大人がどうこう言う必要なしであった。
こういった子供さんの姿を見ていると、私達が
元気を貰った一日であった。

次に大型コマを使ったコマ回し大会を開催、
両手で回すコマであったが、少し練習時間を与
えただけで上手に回していた。ここでは男女の
差はあまり感じなく、やはり子供は遊びの天才
だと思い知らされた。今回ドングリの「マテバ
シイ」が大量に収集してあったため、食べられ
るドングリであり、主婦の方に御飯の中に入れ
て炊き上げる方法を伝授。5名ほどの方に持ち
帰って頂いた。お味はどうでした、美味しかつ
たかな????

(加藤 善夫)

どんぐりsから

●自然中での遊びを通じ、子どもたちの体と
心の成長を手助けする新部会「どんぐりっこ」
が発足した。当会が整備活動にとりかかる前
の高森山は、周囲の小学校が「危険だから」
と児童の立ち入りを禁じていた。「子どもの
歓声がこだまする山に戻したい」というのが
山の整備の動機だった。この数年、高森台小
学校と協力し、山で児童の自然観察会を続け
ている。私たちの夢が大きく近づいてきた。

自然の中で子どもの心身育む どんぐりっこ 部会スタート

人が踏み入れられない程鬱蒼としていた高森山（写真）が、「どんぐりs」や「高蔵寺まちづくり会社」などの皆さんの活動により見違えるほど明るくなり、現在市民の憩いの場として生まれ変わろうとしています。このフィールドで子ども達と遊ぶことを通して、次世代に向けて大切な場所として残していけるような活動をしていきたい。と、いう思いから、いよいよ「どんぐりs」内に子どもたちの育生を目的とした、部会「どんぐりっこ」を発足、高森山で活動させて頂く運びとなりました。

私の朝・昼・晩

水族館での思いつき

この年末、思いもかけず名古屋港水族館に行く機会がありました。わが子が小さい時に行ってからもう十何年ぶりです。館内に入ってすぐ目に飛び込んできたシャチやイルカは、あまりの大きさと素早い動きに釘づけになってしまい、しばらくそこから動けません。このペースでは館内を見切れないので、後ろ髪引かれながら次へ進みました。

お馴染みの小さな魚たちもいれば水族館でしか見られないカメやペンギンたちも。不思議な形をしたもの、何とも鮮やかな模様のもの、愉快的泳ぎ方をしているものなど、それらの名前を確認すべく水槽前に貼られたプレートを交互に見ながら進んでいきました。名前は魚たちの見た目の特徴からつけられているものが多く、例えば顔つきが犬のチンに似ているから「チンアナゴ」とか。これは少々強引かなと感じましたが、妙に納得がいったのが「ブタバナガメ」。どうしてその名前がついたのかすぐにわかる鼻をしていました！

高森山で出会う植物や虫たちも、そんな風に名前の由来を考えたら、覚えられそうです<笑！>。
(梶田 美紀)



豊かな自然に触れる中で、人間も自然の一部であることを知り、自分も人も生き物も植物も地球も全てを大切にできる愛に溢れた子ども達の育ちを応援していきたいです。自然の中に身を置くと、大人も子どもも気持ちが柔らかくなり、自分はかけがえのない存在なのだという事を思い出せる気がします。「何があってもなくてもあなたは大切な存在だよ。あなたのままでステキだよ。」と子供たちに伝えたい。

レイチェルカーソンは、「センスオブワンダー」の中で「知る事は感じることの半分も重要ではない」と言っています。知識を増やす事を重要視せず、自分自身で感じ発見する喜びを子ども達に知ってもらおう活動を自然の中で行っていただけたいと思います。
(作本 あゆみ)

住まい困りごと無料相談

- 電話または直接面接会場にお越しください
☎080-5297-8956（長谷川）
面接相談会日・会場
2月9日（日）グルッポふじとう
3月9日（日）グルッポふじとう
（いずれも13：30～15：30）
- 当会会員の一級建築士が相談に応じます。

ハート・ほっと・ルーム

- 開催日・会場
1月26日（日）養楽福社会たかもり
2月23日（日）養楽福社会たかもり
＝春日井市高森台5-6-6
（いずれも13：30～17：00）
参加費；無料
連絡先；☎090-6330-4393（浪川）
- 暮らしや心の悩みを語り合しましょう